

## 令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 97

千葉県立東金商業高等学校 全日制の課程 商業・情報処理科

### 1 期待する生徒像

商業に関する学科に興味・関心を有する者で、次のいずれかに該当する生徒

ア 中学校生活全般にわたり、意欲的に取り組み、入学後も学業・資格取得・特別活動等に熱心に取り組む意思があること

イ スポーツ活動や文化活動において、優れた実績又は素質を有し、学習面との両立をはかりながら、入学後も本校でその活動に積極的に取り組む意思があること

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール） 実施形態：個人で発表 検査時間：約5分（発表時間は3分） イ 実技による自己表現 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は複数人数で実施） 次の実技のうち1つを選択 野球（男）・サッカー（男）・陸上（男女）・柔道（男女）・ ソフトテニス（男女）・ソフトボール（女）・ バasketボール（男女）・バレーボール（男女）・ 卓球（男女）・吹奏楽（男女） 検査時間：約5分（複数人数で実施する場合は約30分）

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

#### (2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。 資格取得については、英検、漢検、数検3級以上について加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

### (3) 学校設定検査（自己表現）〔90点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（極めて優れている）・b（優れている）・c（標準的である）・d（やや問題がある）・e（問題がある）の5段階で評価する。

aを15点、bを11点、cを7点、dを4点、eを1点とし、2名の評価者の評価（各45点満点）を合計し、得点化する。評価eが1つでもある場合は、審議の対象とする。

#### ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール）

評価項目	評価基準
(7) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 基本的な挨拶・マナーや発表態度が身に付いている。
(4) 内容・構成	発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。 発表内容が整理され、まとまっている。
(7) 表現力	表現力豊かで、聞き取りやすい速さで伝えている。 分かりやすく適切な言葉遣いである。

#### イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(7) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。 基本的な挨拶・マナーや対応が身に付いている。
(4) 基礎的技能	当該種目における基礎的技能を身に付けている。
(7) 専門的技能	当該種目における専門的技能を身に付けている。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	35点	90点	760点

### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

## 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。